

鶴ヶ島市立藤小学校学校運営協議会議事録

会議名 令和4年度第4回鶴ヶ島私立藤小学校学校運営協議会

日時 令和5年2月4日（土曜日） 10:45～11:30

場所 会議室

委員（◎出席 7名 □欠席 3名）

進行：熊谷

記録：熊谷

1 開会のことば 教頭

2 会長あいさつ 会長

校長あいさつ 校長

- ・3学期もスムーズに学校生活が送れています。
- ・あいさつが以前よりもできるようになってきています。
- ・本日は来年度に向けて学校評価の検討をお願いします。

3 協議事項

(1) 学校評価について〈教頭〉

- ・学校評価の方法及び分担について
①と②…AさんBさん。③④⑤…CさんDさん。⑥⑦をEさん。⑧⑨⑩をFさん、Gさん。
- ・評価結果についての分析と課題、課題解決への方策を教職員で話し合い記入済。それらを見て、第3社評価委員の立場で意見を。
- ・結果の概要
 - ① 学校教育目標・教育方針の設定について
肯定的評価 教職員では92%、保護者は97%、地域の方90%
 - ② 学校教育目標・教育方針の周知について
肯定的評価 教職員100%、児童100%、保護者98%、地域の方85%
 - ③ 教学習指導 分かりやすい授業の工夫について
肯定的評価 教職員100% 児童91%
 - ④ 学習指導 授業中の児童の授業の受け方、態度について
肯定的評価 教職員96%、児童90%、保護者92%、地域の方66%
 - ⑤ 生徒指導 いじめやトラブルについての指導について
肯定的評価 教職員100%、児童95%、保護者99%
 - ⑥ 生徒指導 きまりを守っているかということについて
肯定的評価 教職員96%、児童96%、保護者95%、地域の方95%
 - ⑦ 生徒指導 あいさつについて
肯定的評価 教職員71%、児童89%、保護者61%、地域の方70%
 - ⑧ 安全について 登下校の安全対策について

肯定的評価 教職員100%、児童94%、保護者99%、地域の方70%

⑨ 保護者・地域との連携

肯定的評価 教職員100%、保護者97%、地域の方100%

⑩ 学校環境について

肯定的評価 教職員100%、児童98%、保護者98%、地域の方90%

⑪ 働き方改革について

肯定的評価 教職員100%

(2) 学校評価に対する主な意見

A ①について

学校目標は、保護者・地域の方の声を反映して立てているということ、保護者の方も地域の方も感じているということが、結果から読み取れる。今後も回覧板やおたより、ホームページ等によって、学校のPRや目標の設定について、保護者や地域の声を受け止め進めていただきたい。

B ②について

学校教育目標や教育方針を周知しているかですが、教職員100%の肯定的意見ではあるのに半数近くの46%「大体」がついてしまうのは、自信を持って言い切れない部分があると受け取れる。自信を持って保護者や地域へ目標や方針を打ち出してほしい。

C ③について

子供たちが楽しめるように、授業に集中できるように、資料の作成やタブレットも使用して、子供たちが興味を引く内容になっていたかなとは思いますが。

D ④について

今日の学校公開では、緊張感や頑張っている姿を見せたいという思いから概ね授業中の態度がよい。また、タイマーを活用して、子供たちに時間に対しての意識を持たせていた。グループ発表をしている時に真剣に聞いていた。一方、先生との距離感が近い様子もあり、先生が話しているのにお喋りをしたり、話を聞いていないという様子が気になった。

D ⑤について

いじめトラブルに関して、PTAにあがってくることはほとんどない。まず、学校側がきちんと対応してくれている。発信ができた児童に関して対応してくれていると聞いている。自分から言えない子のサインを学校が様々な方法でとらえていただけるとよい。

E ⑥について

授業参観を見ても子供たちがしっかりきまりを守って授業を受けているので、もうちょっと先生方の評価が高くていいのかなって思う。子供たちは比較的自信を持ってちゃんと守っているぞって思っているのも、もっとそこを伸ばしていただけるといいと思う。

E ⑦について

子どもたちは校内で一生懸命頑張ってやっているのも、子供たち自身がもっと評価してもいいのではないかなと思う。先生方も、もっとそこは比較的に子供たちは頑張っているって評価してもよいのではないかなと思う。保護者の調査では否定的な意見があるが、大人ができていないから子供が地域でできないことの現れであると思う。学校からの発信だけでは難しい。保護者同士が意識して取り組めるとよい。

F ⑧について

保護者が100%に対して、地域の方々が70%ということで、この調査項目の中で1番差が開いている項目である。スクールガードリーダーもかなり安全には気を配っており、不安を感じている人たちがいるということで、少数かもしれないが意見を吸い上げて、改善に繋がれるとよい。登校時は高学年もいる班であるが、下校時は学年によってバラバラで来るので、不安を感じていると思う。

(3) 学校の様子とR 5年度教育課程について (校長)

◆学校の様子

- ・スタンプラリーに地域の方々に参加いただき、子どもたちとの交流の場を設けることができた。(学校運営協議会、スクールガードリーダー、PTA、読み聞かせボランティア)
- ・たてわり清掃を毎月実施し、そこに学校応援団の方に来ていただき、子どもたちと一緒に環境整備を行っていただいている。

◆R 5年度教育課程について

変化の激しい社会で、子供たちへの教育も変わりつつあり、児童のより良い学びと、教職員の働く時間の確保の観点から取り組む。

- ・午前中5コマ40分授業の実施
集中できる午前中に5時間行い、午後の授業時数を少なくして、放課後の時間にゆとりをもたせ、教材研究・授業準備をしっかりと確保し、よりよい授業を行う。
- ・スキルタイムの活用
20分間のスキルタイムを設け、学習の振り返りや繰り返し学習、発展の学習等に取り組み、学力向上を図る。また、40分授業と組み合わせて、60分授業を行うなど柔軟な教育課程が可能である。
- ・午後の授業を1コマで早く下校
子供たちの午後の時間にゆとりができて、自分の興味関心にあることや家庭学習に取り組める。
教員も会議や授業研究の時間が持てて、より効果的な教育活動ができる。
- ・第1回目の試行から2回目は以下の点を変更して実施する。
休み時間の確保
下校時刻及び、一時預かりの拡大
- ・今後の課題
共働き等一人で留守番をしなくてはならない児童の学童保育室以外の受け入れ体制を整備していく必要がある。

4 連絡事項

- (1) 第5回学校運営協議会開催予定について〈教頭より〉
資料参照
- (2) 卒業式について
- (3) その他の連絡事項
特になし

5 閉会のことば 教頭